

病歴業務における院内がん登録の標準化への対応

Policy of cancer registration in Niigata cancer center hospital
to the standard cancer registration form

丸山 洋一*

院内がん登録及び地域がん登録の標準化は日本のがん登録にとって画期的な大事業であり、その骨子は ICD-O-3 ルールに基づく、部位コーディングと組織形態・性状コーディングの統一化と、UICC ルールによる病期分類にある。その入力用の専用システムとして、国立がんセンターから Hos-CanR が提供されており、新規に院内がん登録を開始した施設の大半はこれを利用していると思われる。しかし過去分の ICD-10 コードに基づく膨大な院内がん登録データを抱え、それを利用して年次統計の作成を継続してきている施設では、その利用についてはいくつかの問題点がある。

当院病歴室では、病歴室独自で作成している患者統計、新潟県病院局のフォームに基づく統計、病院概要用の統計、全がん協 5 年生存率算定のための統計など、標準化がん登録以外にも数多くの資料作成を行っている（表 1）。

このうち、院内がん登録から作成する悪性疾患入院患者統計などは、従来 ICD-10 コードに基づいて作成しており、悪性リンパ腫の取扱いなどを考慮すると、従来の統計との整合性を保つためには ICD-O-3 に加え、ICD-10 コードも残したほうが便利と思われた。

表 1. 当院病歴室の業務と疾病分類

業務・帳票内容	一般登録 (ICD-10)	悪性登録 (ICD-10)	悪性登録 (ICD-O-3)
新潟県病院局年報	○		
病歴室入退院患者統計	○	○	
病院概要	○	○	
県立がんセンター新潟病院医誌	○	○	
入院サマリ管理	○		
DPC関連業務	○	○	
各種検索依頼	○	○	
院内悪性登録業務	○	○	○
国がん提出用標準登録			○
地域がん登録		(○)	○
全がん協調査・5年生存率	○	○	(○)

また各臓器の取扱い規約と、UICC・TNM 分類および ICD-O-3 組織形態・性状コードとが一致しておらず、過去に取扱い規約に基づいて登録した内容を標準様式に変換することは、必ずしも簡単ではない。特に大腸がんでは取扱い規約に TNM 分類が無く、慣例的に粘膜内 (m) がんの進展度は臓器限局 (T1) として登録してきたが、これを上皮内がん (Tis) に登録し直すことには抵抗感を持つ臨床医も多い。壁内進展度データから、過去に臓器限局として登録した症例を、上皮内 (m) と臓器限局 (sm 以上) に分け直すことも事実上困難である。

これらの課題を解決するため、当院病歴室では過去データの標準様式への変換は当面行わず、従来の当院ルールでのコーディングと

*新潟県立がんセンター新潟病院 情報調査部
〒951-8566 新潟市中央区川岸町 2-15-3

標準コーディングの両者を併記する形式で院内がん登録を行うこととしている。基本システムは患者属性項目の取り込みの容易さを考慮し、Hos-CanRに移行せず、従来の病歴システムに手を加え、標準様式に必要な項目を全て追加した。重複する項目としては、部位コード (ICD-10 と ICD-O-3)、組織コード (ICD-O-3 の当院の従来コードと標準コード)、ステージ分類 (UICC と取り扱い規約)、治療内容 (初回治療と後治療) などが主である (表 2) が、その他胸腺腫や GIST など、UICC で取り決めのない疾患の進展度やステージ分類なども入力するようにしている。また 2007 年分から外来がん登録を開始したが、

入院分と外来分とは分けて統計を取る必要があり、さらに外来登録をした患者が入院をした場合を考え、全く別システムの悪性登録番号を用いている。

表 2. 従来様式と標準様式の主な併記事項

	従来様式	標準様式
部位コード	ICD-10	ICD-O-3
組織コード	ICD-O-3 (当院式コード)	ICD-O-3 (標準コード)
ステージ分類	取り扱い規約	UICC
治療情報	全治療情報	初回治療チェック (追加)
登録番号	入院登録番号	外来登録番号 (追加)

Summary

Various aspects must be considered when the registry introduces a new system for the standard cancer registration form. The medical history registration system of our hospital is needed to output not only the standard cancer registration form but also the other various types of statistical table. We employ fundamentals of conventional system of cancer registration of our hospital adding some input items to correspond both standard and conventional registration.